

【大見出し】
付加価値創造の鍵握るポストプレス

「インライン糊綴じ製本」のメリット

昨今、環境保全に対する取り組みが様々な事業・分野で確立されてきている流れの中で、印刷メディアにおけるホチキス（針金）を使用した製本加工に疑問符が付けられている。

インク素材や表面コーティング加工の改良など、印刷物に対する様々な改善が施されてきている環境下で、後加工部門の「製本」に対する針金の使用に関しては、デザイン性・利便性の観点から、それに代替可能な方法を見出すことが、これまでは難しい状況が続いていた。

一方、現実的には針金を使用した中綴じ冊子は、安全性（PL法等）やリサイクル面における環境対応の観点からはマイナス要素となっているわけだ。

こういった製本業界に存在するジレンマ・問題点を有効に解決する方法論として、製本関連機材専門商社のケイズカンパニー（株）（大阪市北区天満四丁目一四九、高橋龍男社長）は「インライン糊綴じ製本」の可

能性・拡張性を提案し続けている。

昨年開催されたIGAS 2007において同社は、MBO・ハイマン社製紙折り機とhsグルーアップリケーションシステムのコネクションによる以下のような製本加工のデモ実演を行っていた。

▽MBOコンビ折り機にhsコールドグルーガン三基を搭載し、二面付での一六頁背糊製本

▽ハイマンバックル折り機にhsコールドグルーガン二基、後続の専用ナイフ折りユニット側にガン一基を搭載した構成で本文（二四頁）と別紙の表紙（四頁）を挿入した形での二八頁背糊製本

▽ハイマンメーリングライントhsホットメルトシステムのコネクションによるサンプル貼込システム

◇ ◇

hsグルーアップリケーションの持つ最大のメリットの一つとして、「非接触型ガン」が採用されている点を挙げることができる。刷本・折り丁がテーブル上を搬送される状態に左右されることなく、高速・高精度でグルー塗布を制御でき、また「ドット（点）」によるグルー塗布」を実行することにより、用紙に最適な糊

を最小限の量で経済的に運用することが可能となっている。さらに、折り機専用のグルーガンにおいては、ノズル部分にシャッターが標準装備されており、稼働中のトラブル（ノズル先端部の乾燥等）を大幅に軽減する仕組みを採用している。

一方、スピード面においても、実力値として最大六百メートル／分の処理速度を持ち、グルーアップリケーションが生産能力に対するボトルネックとなる要素は一切無い。

既存の設備（紙折り機）に対してグルーアップリケーションを装着することにより、一枚の刷本から「折り」（糊）綴じ」をまさにインラインで仕上げることが可能となるため、各工程のセットアップ時間の短縮及びコストダウンに大きく貢献する。

また、「インライン糊綴じ製本」に着手するにあたり、加工内容（折りパターン・頁数・寸法）に適したコールドグルーシステム構成を検討・構築していく必要があるが、同時に折り機後部にBGRAMAパンチングマシンを装備することで、三方断裁やダイカット加工など、さらに効率向上・付加価値を付けることが可能となる。

前述の環境面・安全面へ

の対応として、官公庁・医療機関・教育機関等の各方面から針金による綴じ冊子の在り方を見直す傾向にある中、加工ラインをトータルで提案できる商品(機材)をラインナップしている同社は今年、改めて提案活動を強化する方針だ。

スジ入れ加工を効率化
トライクリーザー

ケイズカンパニーは昨年のIGAS2007で、スジ加工業務対応の専用装置「トライクリーザー」の販売を開始。展示会后、現在まで既に五〇セットの納品実績を挙げ、各ユーザーより高い評価を得ている。現在、同社のテーマである「ポストプレス分野での付加価値創造」「工数削減」にマッチしたユニークかつ新しい提案として同装置の販促を強化している。

この「トライクリーザー」という商品は、イギリス・テクニフォールド社製品で、既に全世界で二万セットを超える納入実績があり、その多くは製本・紙工業者及び印刷業者である。

一般的に折り機やスジ入れ専用機で加工を施した場合は、とくに厚紙に対しては「背割れ」が生じることは避けられない結果となっていた。また、本来簡単なは

ずの「まつすぐスジを入れる」ということが困難であり、仕方なくシリンドー式専用機を保有する外注先に協力を要請しているケースが数多く見受けられる。「納期」「コスト」両面でボトルネックとなつているこの「スジ入れ加工業務」をローコスト・短納期で解消するのが「トライクリーザー」である。

トライクリーザーの最大の特徴は、オス側のスジ刃材質が専用ゴム素材であること。必然的に従来のスチール製刃と比較して、▽刷本の表面に傷を付けない▽ゴム素材のグリップ力を最大限に生かし、従来比約三倍程度深い「スジ」を入れることが可能▽「スジを入れる」||「紙の繊維を伸ばす」仕組みを採用しているため、刷本の表面加工条件等により結果が左右されないといったメリットが挙げられる。

また、ゴム製スジ刃の形状はU字型構造になつており、スジ幅全体に均一に圧力がかかる設計となつている。

一方、受け側(メス側)については、従来のスジ刃装置では、受け側の溝間隔を刷本に対し最適にセットアップする様にオペレーターの感覚・経験に頼らざるを得ない状況となつてお

り、それにかかる時間は相当地な負担であったが、トライクリーザーでは複数のスジ刃(オス)に対応する受け溝が予めメス側に設定されているため、大幅にセットアップ時間を短縮できるのが特徴である。

これらのメリットを総括すると、以下の通り。
▽紙目を選ばず
▽刷本の条件に左右されず
▽高精度のスジ入れ加工が可能
内製化できる

キャンペーン期間延長

同社では、トライクリーザー発売開始当初から年内限定の特別キャンペーンを展開してきたが、好評につきキャンペーン期間を今年三月末まで延長する。

トライクリーザーは取付機械の寸法により、三種類ある。詳細については、現在使用中のスジ刃装置のカラー内径・外径寸法と合わせ同社営業部まで。

【トライクリーザー特別販売キャンペーン】

定価二五万円←キャンペーン特別価格一五万円
(三月二十日受注分まで)

〈問い合わせ〉

ケイズカンパニー(株)
電話〇六―四八〇〇―七二七
七 FAX〇六―四八〇〇―
七二八八 担当/有本・山内まで。